

By doing simple things / **like** reading to their child, / **sharing** their thinking about [what they read], / and **telling** their child stories, / **they** can **help** <^ **develop** the **foundation** <needed for children / <to become good readers and learn [that reading is not a **chore** but a **lifetime** adventure]>>>.

例 例1 例2 例3 S = parents
 O'' S'' V''
 ↑過去分詞の修飾 不定詞の副詞用法
 not A but B [AではなくてB]

内容Check!

問 次の各文が正しければ () に○を, 誤っていれば×を記入しなさい。

1. The U.S. had and still has a reading problem. ()
2. Results from a study showed that a large number of U.S. teenagers could not tell the precise meanings of the materials read. ()
3. There is nothing parents can do to help their children develop their reading skills. ()

覚えておきたい表現

■ even with ~ 「～にもかかわらず」(逆接の表現)

ℓ.1 : **Even with** the hard work and caring of many dedicated teachers and concerned parents, the U.S. continues to have a reading problem. 「多くの熱心な教師や関心を持つ保護者らの懸命な取り組みや心配にもかかわらず, アメリカは読むことに関する問題を抱え続けている。」

・前置詞 with には「～があるものの; ～にもかかわらず」という**逆接**の意味がある。強調の副詞 even を加えると逆接の意味がよりはっきり表せる。in spite of ~と同表現と考えてよい。

Ex. **Even with** the discount, this car is still expensive. 「その割引をしてさえ, なおこの車は高価だ。」

■ No wonder ... 「…は当然だ」

ℓ.9 : **No wonder** many parents are discouraged, but they needn't be. 「多くの親ががっかりするのは当然であるが, その必要はない。」

・No wonder ... 「…は当然だ」: この表現は It is natural (that) ... 「…は当然だ」とほぼ同じ意味。wonder の後ろには節が続くことに注意したい。

Ex. "Their new laptop computer costs less than 60,000 yen." — "**No wonder** it has won such overwhelming popularity." 「あの会社の新型ノートパソコンは6万円を切る値段よ。」 「こんな圧倒的な人気が出たのも不思議ではないね。」

・they needn't be (discouraged) 「がっかりする必要はない」: discouraged が省略されていることを見抜きたい。

■ help+(to) do 「…する助けになる」

ℓ.11 : they can **help develop** the foundation needed for children to become good readers 「子供が読むことが得意になるために必要な基礎を発達させる手助けをすることが, 親にはできる」

・help (to) do の to は本文のように省略されることがある。help A (to) do 「A が…するのを助ける」の形もある。

Ex. I'll **help carry** the baggage upstairs. 「お荷物を2階に運ぶお手伝いをしますよ。」

・needed for A to do 「A が…するのに必要な」: needed は過去分詞で foundation を修飾している。

整理しよう! *段落要旨・構造*

① 読解力に関する問題の実例

◆ ℓ.1 **Even with** ~ 「～にもかかわらず: 逆接」

- ・アメリカでは教師や保護者の取り組みや心配があるにもかかわらず, 依然子供の読解力に問題がある。
- ・統計による裏づけ

1. 国立教育情報センター調査: 4年生の38%が, 簡単な子供の本の短い段落も読解できない。
2. 1998年の調査: 10代の若者の60%が特定の事実は理解できる。

◆ ℓ.7 **but** 「しかし: 逆接」

読んだ資料の意味を詳述できたのは5%未満。

② 読解力養成のために親が子にできること

- ・親ががっかりするのも不思議ではない。

◆ ℓ.9 **but** 「しかし: 逆接」

その必要はない。

◆ ℓ.10 **like** ~ 「～のような: 例」

- (対策)
1. 本を読み聞かせる。
 2. 読んだものについて考えを述べ合う。
 3. 物語を話してあげる。

⇒ (結果) ・子供は読むことが得意になる。

- ・読書が退屈なものではなく, 生涯続く冒険だとわかるために必要な基礎が身に付く。

背景知識

●自由読書という方法

アメリカでの研究によると, 読解力や文章力, 語彙, 文法などといった言語能力を高めるには, 子供が学校の内外で自分の好きな本を自発的に読む「自由読書」を行うことが効果的だという。「自由読書」の効果は, 例えば, 語彙の読み取りが速くなることに現れる。これは, 語彙を教師に教え込まれるという受け身の姿勢ではなく, 自発的に読むという姿勢にその要因があると言える。年間100万語の英語を読む子供ならば, 繰り返し出てくる語などについてはそのうち文脈などから意味をつかんで習得することができるので, 結果として, 年間で約1,000語の語彙を習得することになるという。ちなみに年間100万語の英語を読むことは, 楽しい読み物を用いれば, さほど苦勞がないとされる。

【深めたい人に】: スティーブン・クラッシュエン著, 長倉美恵子, 黒澤浩, 塚原博訳『読書はパワー』(金の星社, 1996年)